

教科	国語	科目名	現代文B	単位数	2
学科	全科	学年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書	第一学習社『標準現代文B』				
副教材など	クリアカラー国語便覧(教研出版)		国語表現ワークノート(第一学習社)		
	国語必携パーフェクト演習(尚文出版)		常用漢字クリア(尚文出版)		

1. 科目の目的

- 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2. 授業の内容と進め方

- 論理的な文章を扱う場合、構成や展開に注意して内容を理解し、主題を的確にとらえることを目指します。また、必要に応じて要約も行います。
- 文学的な文章を扱う場合、人物や情景、心情などを表現に即して読み味わい、書き手の意図を的確にとらえることを目指します。
- 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする態度の育成を目指します。
- 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現することを目指します。
- 漢字の読み、書き、語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにすることを目指します。
- 文や文章の組み立て、表記の仕方などを理解し、目的や場に応じた表現を身につけるとともに、さまざまな表現方法、伝達方法についても学びます。

3. 学習する上での留意点

- 授業には集中して臨み、ノートはきちんと取るのはもちろんのこと、必要なことは自分でメモしたり、まとめたりすること。
- 準備するよう指示された教材は、必ず学校へ持参すること。また、配布されたプリント類はノートに貼るなどして整理に努めること。
- 不確かな言葉があった場合は、必ず辞書を引いて正確な理解や表現に努めること。
- 家庭学習課題として出されたものは、辞書や便覧等を利用して自分の力で行い、提出期限を厳守すること。また、やむを得ず期限を遅れる場合は、必ずその旨を教科担当者へ連絡すること。
- 日ごろから新聞や書物を読んで、自分の考えを表現するための材料集めに努めること。

4. 課題等について

- 語彙を豊かにし、国語についての知識を深めるために、主にパーフェクト演習や国語表現ワークノートをもとにした家庭学習課題を出すことがあります。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	1. 文章の内容や特色を進んで読み取り、自分の意見や考えを広げたり深めたりしたか。 2. 言葉に関心を持って適切に使用したり、自分の考えを進んで伝えたりしたか。 3. 辞書や図書館などの資料を利用し、疑問点や興味のあることを進んで調べようとしたか。
話す・聞く能力	1. さまざまな問題について自分の考えを持ち、筋道を立てて話したか。 2. 目的や場面に応じて効果的に話したり、相手の話を的確に聞き取ったりしたか。 3. 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場に立って話し合いを行ったか。
書く能力	1. 相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書いたか。 2. 論理的な構成を工夫し、自分の考えを深め、文章にまとめたか。 3. すぐれた文章に接してその条件を考え、自分の表現に役立てたか。
読む能力	1. さまざまな文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、要約したりしたか。 2. 文章を読んで構成や表現の特色をとらえたり、人物の心理描写や情景描写を味わったか。 3. 積極的に読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしたか。
知識・理解	1. 目的や場に応じた話し方や言葉づかい、文法、漢字等を理解して、語彙を豊かにしたか。 2. 国語の成り立ちや特質、言語の役割などを正しく理解したか。

6. 評価の方法

定期考査・学習活動への参加の姿勢や授業ノート・提出された課題によって評価する。

《指導計画》 科目名 現代文B

3 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	授業を受けるにあたっての心構えについて 第Ⅱ部 1 随想 一 『食と想像力』(辺見庸)	<ul style="list-style-type: none"> ・3年での国語の学習方法について知る。 ・対比から筆者の考えを読み取る。 ・食という身近なものを新たな視点から見つめ直し、字にも引きつけて考える。 ・仮名遣い、送り仮名、句読点、符号、用字について理解する。 	定期考査、小テスト、教材の準備、学習活動への参加姿勢や態度、授業ノート、作品、課題の提出状況により、総合的に評価する。
	5	国語表現ワークノート 基礎レッスン編 表記 パーフェクト演習 第1編 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・文体、明確な表現、適切な係り受け、文の長さについて理解する。 	
	6	国語表現ワークノート 基礎レッスン編 表現 第Ⅱ部 小説1 『話を聞かせて』(山本文緒)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の構成の特徴、「私」の心情の変化について理解する。 	
	7	国語表現ワークノート 基礎レッスン編 敬語表現 パーフェクト演習 第2編 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語を中心に、相手に配慮した表現や丁寧な表現について理解する。 	
		第Ⅱ部 評論 『思い込みの危険性』(安斎育郎)	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章を読み、具体例と抽象的な記述の関係を理解する。 	
		パーフェクト演習 第3編		
		9	国語表現ワークノート 表現レッスン編 手紙の書き方 第Ⅱ部 現代詩の鑑賞	
二 学 期	10	中間考査 第Ⅱ部 評論 『経験の教えについて』(森本哲郎)	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章を読解する。 ・経験と自己認識との関係について理解し、経験に学ぶことの重要性について考える。 	
	11	第Ⅱ部 小説 『卒業』(魚住直子)	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場面における登場人物の心情変化を読み取る。 ・題名の持つ意味について考える。 	
	12	期末考査 第Ⅱ部 短歌鑑賞 「折々のうた」(大岡信)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の形をとった文章の読解を通して、近代短歌・近代俳句の鑑賞の仕方を習得する。 	
		国語表現ワークノート 表現レッスン編 スピーチの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチについて、準備のしかたや話し方を学び、人前で自分の考えや意見を的確かつ効果的に述べるができるようにする。 	
三 学 期	1	第Ⅱ部 随想 『文化とは何か』(八代京子)	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開を読み解く。 ・筆者の意見を参考にし、「異文化コミュニケーション」について自分の身に引きつけて考える。 	
	2	国語表現ワークノート 表現レッスン編 電話のかけ方・受け方 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・電話をかけるときと受けるときのマナーや言葉遣いを理解し、実生活に生かすことができるようにする。 	
	3			